

平成28年5月27日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

議案

番号	件名	主管課
1	山口県教育支援委員会委員の任命について	特別支援 教育推進室

議案第1号

山口県教育支援委員会委員の任命について

山口県教育支援委員会規則（昭和53年山口県教育委員会規則第4号）第3条第2項の規定に基づき、山口県教育支援委員会の委員を別紙のとおり任命する。

平成28年（2016年）5月27日

山口県教育委員会

平成28年度 山口県教育支援委員会委員(案)

〈別紙1〉

	氏 名	所属・役職名等	区分	備 考
1	おくの 園 美 子	おくぞの耳鼻科クリニック 院長	医師(耳鼻科)	再任
2	かとう 登田 恵 子	山口県立大学 副学長(地域貢献担当) 兼 地域共生センター 所長	学識経験者	再任
3	かね 金 原 洋 治	かねはら小児科 院長	医師(小児科)	再任
4	た 田 中 博 文	山口県特別支援教育研究連盟 理事 (萩市立白水小学校 校長)	関係教育機関	再任
5	た 田 原 草 浩	たはらクリニック 院長	医師(小児科・内科)	再任
6	にし 西 川 浩 子	山口県LD親の会「ほっぺ」 会長 (医 師)	学識経験者	再任
7	算 筈 加代子	(公財)山口県私立幼稚園協会 理事	関係教育機関	新任
	はら 原 田 貴美代	(公財)山口県私立幼稚園協会 副理事長	関係教育機関	前任
8	ひら 平 尾 かなめ 要	社会福祉法人ひらきの家 事業所長	学識経験者	再任
9	ふく 福 田 修 三	(財)山口県肢体不自由児協会 理事	学識経験者	再任
10	し 藤 田 久 美	山口県立大学社会福祉学部 教授	学識経験者	再任
11	ほそ 細 の 野 聖 子	山口県国公立幼稚園・こども園連盟 会長 (周南市立菊川幼稚園長)	関係教育機関	再任
12	ま 松 岡 勝 彦	山口大学教育学部 教授	学識経験者	再任
13	せ 吉 村 佳 子	小郡第一総合病院 眼科医	医師(眼科)	再任
14	た 渡 戸 広 子	クボクリニック 精神科医	医師(精神科)	再任

任期：平成28年6月1日～平成30年5月31日

(趣 旨)

第1条 この規則は、附属機関の設置に関する条例(昭和28年山口県条例第51号)第2条の規定に基づき、山口県教育支援委員会(以下「委員会」という。)の組織、運営その他必要な事項について定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、山口県教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 県立の特別支援学校に就学しようとする者並びに在学する児童及び生徒のうち、当該学校において障害の種類及び程度を判定することが困難なものについての教育支援に関すること。
- (2) 障害の種類及び程度を判定することが困難であるとして市町教育委員会から依頼のあった者についての教育支援に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、障害のある児童及び生徒の教育支援について教育委員会が特に必要と認める事項に関すること。

(組 織)

第3条 委員会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1)学識経験を有する者
- (2)医師
- (3)関係行政機関の職員
- (4)関係教育機関の職員

(任 期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 委員会に会長及び副会長各1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会 議)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は会長が招集する。

- 2 会議の議長は、会長をもって充てる。
- 3 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部 会)

第7条 委員会に、委員会から付議された事項を調査審議するため、次に掲げる部会を置く。

- (1)視覚障害部会
- (2)聴覚障害部会
- (3)知的障害部会
- (4)肢体不自由部会
- (5)病弱・虚弱部会

2 部会は、委員会の委員で組織する。

3 部会に属すべき委員は、委員会の会長が指名する。

4 前2条の規定は、部会について準用する。この場合において、これらの規定中「会長」とあるのは「部会長」と、「副会長」とあるのは「副部会長」と読み替えるものとする。

(調 査 員)

第8条 委員会に、特別の事項を調査するため必要があるときは、調査員を置くことができる。

- 2 調査員は、関係行政機関又は関係教育機関の職員のうちから、教育委員会が任命する。
- 3 調査員は、当該特別の事項に関する調査が終了したときは、解任されるものとする。

(庶 務)

第9条 委員会の庶務は、教育庁特別支援教育推進室において処理する。

(そ の 他)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、会長が委員会に諮って定める。

報告事項

番号	件名	主管課
1	平成29年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項の発表について	教職員課
2	平成28年3月新規高等学校等卒業者求人・求職状況等について	高校教育課

報告事項 1

平成29年度(2017年度)山口県公立学校教員採用候補者選考試験の実施について

1 選考区分、志願区分(校種等)、教科(科目等)及び採用見込者数

(1) 選考区分及び志願区分(校種等)

ア 一般選考

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校小学部・中学部・高等部、養護教諭、栄養教諭の区分で実施する。

イ 身体障害者を対象とした選考

一般選考において実施する全ての志願区分(校種等)において実施する。

ウ 社会人特別選考

一般選考の小学校、中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等)において実施する。

エ スポーツ・芸術特別選考

中学校の保健体育、音楽及び美術並びに高等学校の保健体育、芸術(音楽)において実施する。

オ 山口県教師力向上プログラム修了者特別選考

小学校において実施する。

カ 博士号取得者特別選考

高等学校の理科(物理、化学、生物、地学)において実施する。

キ 看護科・理療科教諭特別選考

高等学校の看護、特別支援学校高等部の理療において実施する。

※ 試験は、一つの選考区分、志願区分(校種等)に限り志願できる。

ただし、一般選考における中学校又は特別支援学校の小学部若しくは中学部を志願する者は、小学校を第二志願とすることができる。

また、以下に示す特定の教科(科目等)の組合せについては、相互に第二志願として併願することができる。

- ①一般選考における中学校音楽と特別支援学校中学部音楽
- ②一般選考における中学校美術と特別支援学校中学部美術
- ③一般選考における高等学校芸術(音楽)と特別支援学校高等部芸術(音楽)
- ④スポーツ・芸術特別選考における中学校保健体育と高等学校保健体育
- ⑤スポーツ・芸術特別選考における中学校音楽と高等学校芸術(音楽)

(2) 教科(科目等)及び採用見込者数

全体419人程度 [昨年度415人程度]

採用見込者数の算定に当たっては、退職者数、児童生徒数の推移等を考慮した。

ア 一般選考

小学校	207人程度	[昨年度201人程度]
	100人程度	[昨年度96人程度]
中学校	○ 国語	16人程度
	○ 社会	14人程度
	○ 数学	17人程度
	○ 理科	13人程度
	○ 音楽	5人程度
	○ 美術	2人程度
	○ 保健体育	16人程度
	○ 技術	1人程度
	○ 家庭	1人程度
	○ 外国語(英語)	15人程度

	65人程度	[昨年度74人程度]
○ 国語	9人程度	
○ 地理歴史	2人程度	
世界史	2人程度	
日本史	2人程度	
地理	3人程度	

高等学校	○ 数学	7人程度	
	○ 理科		
	物理	1人程度	
	化学	2人程度	
	生物	3人程度	
	地学	1人程度	
	○ 保健体育	2人程度	
	○ 芸術		
	音楽	1人程度	
	○ 外国語(英語)	1	2人程度
	○ 家庭	2人程度	
	○ 情報	1人程度	
	○ 農業		
	農業畜産系	1人程度	
	農芸化学・食品系	1人程度	
	○ 工業		
	機械系	3人程度	
電気系	3人程度		
土木建築系	1人程度		
化学工業系	2人程度		
○ 商業	3人程度		
○ 水産			
航海系	1人程度		
機関係	1人程度		
○ 福祉	1人程度		
特別支援学校	小学部	4人程度	[昨年度4人程度]
	中学部	4人程度	[昨年度4人程度]
	○ 国、社、数、理、音、美、保、技、家、外(英)		
	高等部	4人程度	[昨年度4人程度]
	○ 国、地歴、数、理、芸(音)、外(英)、情、農、福		
養護教諭	2	2人程度	[昨年度2人程度]
栄養教諭	2	人程度	[昨年度募集なし]

※採用者数は、退職者数の状況等により変更することがある。

- イ 身体障害者を対象とした選考
 全ての志願区分(校種等)全体で9人程度 [昨年度9人程度]
- ウ 社会人特別選考
 小学校、中学校、高等学校とも上記ア一般選考の採用見込者数に含む。
- エ スポーツ・芸術特別選考
 中学校、高等学校とも上記ア一般選考の採用見込者数に含む。
- オ 山口県教師力向上プログラム修了者特別選考
 上記ア一般選考の採用見込者数に含む。
- カ 博士号取得者特別選考
 上記ア一般選考の採用見込者数に含む。
- キ 看護科・理療科教諭特別選考
 高等学校 看護 1人程度 [昨年度1人程度]
 特別支援学校高等部 理療 1人程度 [昨年度募集なし]

2 志願書類受付期間

- 郵送又は持参による場合 5月13日(金)から6月3日(金)まで
 ※郵送の場合は、6月3日の消印のものまで有効
- インターネットによる場合 5月13日(金)から5月27日(金)午後5時まで

3 選考試験期日

- 第一次試験
 7月16日(土)及び17日(日)
- 第二次試験
 8月20日(土)及び21日(日)
 なお、小学校については、上記に加えて21日(日)から23日(火)のうち指定した1日で個人面接を実施(8月27日(土)、28日(日)を、悪天候等で小学校個人面接が実施できなかった場合の予備日とする。)

4 選考試験会場

(1) 第一次試験

- ア 山口会場・・・・・・・・・・山口高校、山口中央高校、西京高校
- イ 東京会場(神奈川県横浜市)・・・國學院大學たまプラーザキャンパス

(2) 第二次試験

山口高校、山口中央高校、西京高校、山口農業高校

5 選考試験内容

(1) 第一次試験

ア 一般選考、身体障害者を対象とした選考、社会人特別選考、山口県教師力向上プログラム修了者特別選考及び博士号取得者特別選考

教職専門(社会人特別選考、山口県教師力向上プログラム修了者特別選考及び博士号取得者特別選考の志願者以外の者)、

教科専門、

特別支援教育専門(特別支援学校志願者及び特別支援学校を第二志願とする者)、

実技(小学校及び特別支援学校小学部の志願者以外の者)、

集団面接(討議)(山口県教師力向上プログラム修了者特別選考の志願者以外の者)

イ スポーツ・芸術特別選考、看護科・理療科教諭特別選考

個人面接、集団面接(討議)

(2) 第二次試験

適性検査、小論文、集団面接(模擬授業及び討議)、個人面接、実技(小学校、特別支援学校小学部の志願者及び小学校を第二志願とする者)

※ 身体に障害がある志願者については、障害の状態等に応じて、実技の免除、車椅子の使用、点字や拡大文字による受験等の配慮をする。

6 選考試験結果の発表

(1) 第一次試験結果の発表予定

8月9日(火) 午前9時

(2) 第二次試験結果の発表予定(採用候補者名簿登載予定者の発表)

10月5日(水) 午前9時

7 平成29年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験の変更点

(1) 志願区分に「栄養教諭」を追加

食に関する指導の中核となる栄養教諭の新規採用開始に伴い、栄養教諭の志願区分を設けます。

(※ 小・中学校の学校栄養職員の採用は、平成29年度(試験実施は平成28年度)までとなります。)

(2) 社会人特別選考(高等学校水産)における特別免許状の活用

社会人特別選考において高等学校の水産を志願する者については、相当の普通免許状の取得又は取得見込みがない場合でも、実施要項で定める要件を満たす者については受験できます。この場合、採用候補者名簿登載予定者となったことの通知後、教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要があります。

8 志願書類の請求等について

(1) 配布場所

山口県庁(受付、中央県民相談室及び山口県教育庁教職員課)、山口県内各総合庁舎(地方県民相談室等)、山口県東京営業本部、山口県大阪営業本部、山口県内各市町教育委員会

(2) 郵便で請求する場合

請求先：〒753-8501 山口市滝町1番1号 山口県教育庁教職員課(☎ 083-933-4550)

封筒の表に「教員志願書類請求」と朱書きし、住所、氏名(〇〇様とする。)及び郵便番号を明記し140円分の切手を貼った返信用封筒(角形2号：縦33cm、横24cmのもの)を必ず同封すること。

なお、同時に2部請求する場合は65円分の切手を、割増郵送料として追加すること。

(3) インターネットを利用した申請の場合

アクセス先：<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/index/>

9 その他

(1) 教員採用候補者選考試験説明会の実施

平成29年度教員採用試験の変更点をはじめ、試験内容等について周知する説明会を、県内外合わせて14会場で開催。

説明会会場では、パンフレット、実施要項、志願書類を配付。

【日時及び会場名等】

日時	会場名	場所	参加者数 ()は昨年度
5月13日(金) 12:45~14:15	福岡教育大学会場	福岡教育大学教育学部 共通講義棟 310教室 福岡県宗像市赤間文教町1-1	33人(17人)
5月13日(金) 18:00~20:00	山口大学会場	山口大学吉田キャンパス 共通教育棟2番教室 山口市吉田1677-1	191人(167人)
5月14日(土) 13:30~15:30	下関会場	下関市教育センター 大研修室 下関市幡生新町1-1	104人(110人)
5月14日(土) 10:30~12:00	萩会場	萩市教育委員会 第3会議室 萩市大字江向510番地	10人(17人)
5月14日(土) 14:00~15:30	福岡会場	福岡県立ももち文化センター 視聴覚室 福岡市早良区百道二丁目3番15号	30人(23人)
5月15日(日) 10:30~12:00	岩国会場	岩国市教育センター 第1研修室、第2研修室 山口県岩国市横山三丁目1番11号	40人(36人)
5月15日(日) 10:00~12:00	周南会場	県周南総合庁舎 周南会議室702、703 周南市毛利町2-38	76人(93人)
5月15日(日) 14:00~15:30	岡山会場	岡山県生涯学習センター 視聴覚室 岡山市北区伊島町3丁目1-1	37人(20人)
5月16日(月) 17:50~19:50	山口県立大学会場	山口県立大学 D-14教室 山口県山口市桜島3丁目2-1	51人(45人)
5月19日(木) 13:30~15:00	広島大学会場	広島大学教育学部 L-104講義室 広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	18人(24人)
5月19日(木) 19:15~20:45	広島会場	広島市まちづくり市民交流プラザ 研修室C 広島市中区袋町6番36号	22人(16人)
5月20日(金) 18:00~19:30	山口学芸大学会場	山口学芸大学 I-10教室 山口県山口市小郡みらい町1-7-1	(86人)
5月22日(日) 14:00~15:30	大阪会場	大阪市東淀川区民会館(4階) 会議室1 大阪市東淀川区東淡路1-4-53	(27人)
5月22日(日) 14:00~15:30	東京会場	東京都港区生涯学習センター(ばるーん)304学習室 東京都港区新橋3丁目16-3	(35人)
参加者数合計			(716人)

※参加者数については5/19現在

報告事項 2

1 平成28年3月新規高等学校等卒業者の求人・求職・就職状況

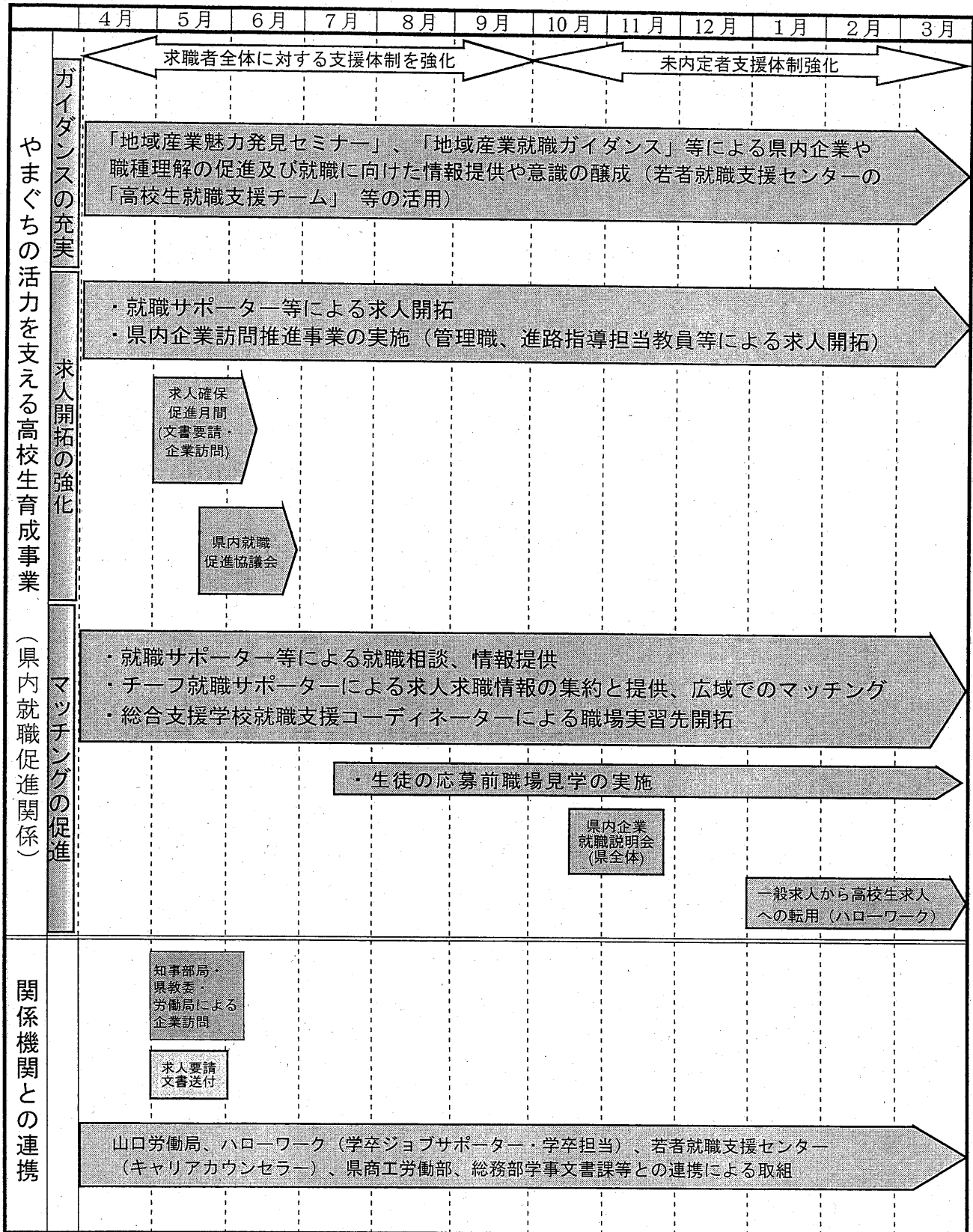
平成28年3月末日現在（山口労働局調べより作成）

項目	性別	合計	男子	女子	前年同期比
A 求人数(人)	県内安定 所受理数	(4,469) 4,975			11.3%
B 就職 希望 者 数 (人)	県内就職 希望者数	(2,568) 2,598	(1,469) 1,508	(1,099) 1,090	1.2%
	県外就職 希望者数	(565) 623	(428) 494	(137) 129	10.3%
	合計	(3,133) 3,221	(1,897) 2,002	(1,236) 1,219	2.8%
C=A/B 求人倍率(倍)		(1.43) 1.54			0.11ポイント
D 就職 内 者 数 (人)	県内就職 者数	(2,552) 2,580	(1,465) 1,497	(1,087) 1,083	1.1%
	県外就職 者数	(564) 623	(428) 494	(136) 129	10.5%
	合計	(3,116) 3,203	(1,893) 1,991	(1,223) 1,212	2.8%
E 未内定 (人) (B-D)	県内	(16) 18	(4) 11	(12) 7	2人
	県外	(1) 0	(0) 0	(1) 0	-1人
	合計	(17) 18	(4) 11	(13) 7	1人
F=D/B 就職 内定率 (%)	県内 就職	(99.4) 99.3	(99.7) 99.3	(98.9) 99.4	-0.1ポイント
	県外 就職	(99.8) 100.0	(100.0) 100.0	(99.3) 100.0	0.2ポイント
	合計	(99.5) 99.4	(99.8) 99.5	(98.9) 99.4	-0.1ポイント
G 県内・県外 就職内定 比率 (%)	県内 就職	(81.9) 80.5	(77.4) 75.2	(88.9) 89.4	-1.4ポイント
	県外 就職	(18.1) 19.5	(22.6) 24.8	(11.1) 10.6	1.4ポイント
<p>(注) 1. ()内は昨年同期の数値である。 2. A欄：求人数は、山口県内の公共職業安定所で受理した求人数である。 3. B欄：就職希望者数は、学校又は公共職業安定所の紹介を希望する者の数である。 4. C欄：求人倍率は、Aの求人数/Bの就職希望者数(合計)である。 5. G欄：県内・県外就職比率は、平成28年3月末日現在における就職内定者の合計3,203人に対する県内・県外就職内定者(2,580人、623人)の比率である。</p>					

2 平成28年度の就職支援対策について

<基本方針>

新規高卒者を取り巻く雇用情勢の変化に迅速に対応するため、「ガイダンスの充実」、「求人開拓の強化」、「マッチングの促進」を3つの柱とし、関係機関との連携を深めながら、組織的できめ細かな就職支援により、就職を希望する全ての生徒の進路実現を図る。



3 やまぐちの活力を支える高校生育成事業の概要（県内就職促進関係）

(1) 県内就職サポーター等配置事業

- 就職サポーター〔公立高校25人、私立高校7人〕
就職相談、求人開拓、情報提供等、総合的に就職支援を行う。
派遣校制度により、すべての学校を支援する。

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校

- チーフ就職サポーター〔3人：県東部、県中部、県西部〕
求人情報等を集約し、県内全域で共有化する。※就職サポーターの業務含む

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校

- 総合支援学校就職支援コーディネーター〔3人：県東部、県中部、県西部〕
総合支援学校の生徒の現場実習先の開拓や就職支援、学校間の調整を行う。

対 象：県立特別支援学校

(2) 県内企業訪問推進事業

進路指導担当者等による企業訪問を実施し、求人開拓や応募前職場見学及び職場定着指導等を行う。

対 象：県立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校

※県立高森みどり中学校は職場定着指導のみ可

実施期間：平成28年4月～平成29年3月

(3) 県内就職促進協議会

進路指導担当者等や企業の採用担当者等が教育内容や業務内容等について情報交換を行う。

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、特別支援学校、私立高等学校

開催地区：	岩国地区	6月 6日(月)	岩国国際観光ホテル
	柳井地区	6月 3日(金)	柳井市文化福祉会館
	周南地区	5月31日(火)	下松市地域交流センター
	山口・防府地区	5月17日(火)	県庁職員ホール
	宇部・山陽小野田地区	5月23日(月)	ココランド山口・宇部
	下関地区	5月27日(金)	川棚グランドホテル
	萩・長門地区	6月10日(金)	萩グランドホテル
	臨時	6月21日(火)	県庁職員ホール

(4) 県内企業就職説明会

就職未内定者の就職内定に向け、生徒と企業の採用担当等との個別面談を行う。

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校

実施期間：平成28年10月～平成29年2月

(5) 県内就職ガイダンス等充実事業

- 地域産業魅力発見セミナー

地域産業の魅力を伝えるため、各学校において商工会議所等産業に見識の深い方や地域の活性化をめざした取組に携わっている方を講師としてセミナーを実施する。

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校に在籍する高校1・2年生及び保護者

実施期間：平成28年4月～平成29年3月

- 地域産業就職ガイダンス

生徒・保護者に対して就職に向けた意識の醸成を図るため、各学校において高校生就職支援チーム等関係機関の方を講師としてガイダンスを実施する。

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校に在籍する高校3年生及び保護者

実施期間：平成28年4月～平成29年3月

協議事項

番号	件名	主管課
1	県立高校の再編整備等について	高校教育課

協議事項 1

響高校と豊北高校の再編統合について（案）

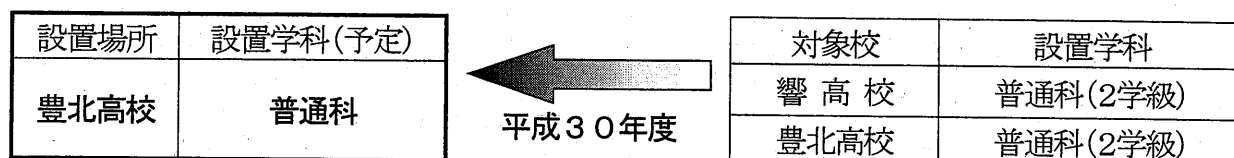
1 新高校のコンセプト

地域と連携・協働する教育活動の推進により、郷土への愛着と誇りを育み、未来社会に対応できる実践力を培う学校

- 夢や希望をもって未来を切り拓く、確かな学力を備えた人材を育成する。
- 郷土への愛着と誇りをもち、地域や人とのつながりを大切にする心豊かな人材を育成する。
- 主体性をもって多様な人々と協働して学び、地域の活性化や課題解決に貢献する人材を育成する。

2 新高校の概要

(1) 再編統合の方向性



(2) 新高校への移行

	(平成29年度)			(平成30年度)			(平成31年度)			(平成32年度)		
響高校	1年	2年	3年		2年	3年			3年			
新高校				1年			1年	2年		1年	2年	3年
豊北高校	1年	2年	3年		2年	3年			3年			

3 教育の特色の方向性 ～ 両校の歴史・伝統や教育活動を継承した取組を検討 ～

(1) 学力の向上により生徒の進路希望に応える教育の推進

～ 基礎的・基本的な知識・技能に加え、それらを活用して課題を解決するための思考力や判断力、表現力などの社会で求められる能力を育成する。 ～

- 国公立大学をはじめとする進学や就職等への幅広い進路希望に対応した教育課程の工夫
 - (例) ・国公立大学や難関私立大学に対応したコースの設定
 - ・医療・看護系への進学や公務員等の就職などに対応した選択科目の設置
 - ・スポーツや観光など両校の伝統や地域の特性を踏まえた教育活動の工夫
- 学力向上をめざしたきめ細かな指導の充実
 - (例) ・基礎学力の定着状況に応じた習熟度別学習指導
 - ・少人数指導、個別指導による徹底した教科指導
- 実践力を養う多様な学習活動の推進
 - (例) ・論述・討論などの言語活動
 - ・グループワークや発表などの探究活動
 - ・言語や異文化に対する理解を深める国際教育（英語、ハンデル、中国語）
 - ・ICTを活用した国内外生徒等との交流

(2) 地域と連携・協働した教育の推進

～ 地域と連携し、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を育成する。 ～

- 社会的・地域的な課題を題材にした課題解決型学習の推進
 (例) ・地域の観光資源(自然環境、史跡など)の活用に関する調査・研究
 ・地域で有する天然記念物の保護や自然海岸の維持・保全に関する環境教育
 ・地元住民や地域産業等と連携した地域活性化方策の研究(オリジナル商品の開発等)
- 地域の小中学校との小中高連携教育の推進
 (例) ・地元小中学校への出前授業
 ・地域行事への小中学生との共同参加

(3) 生徒の社会的・職業的な自立を促す教育の推進

～ 自己理解の深化を図るとともに、生徒一人ひとりが主体的に進路を選択する態度を育成する。 ～

- 進路意識の高揚を図る、3年間を見通した計画的なキャリア教育の充実
 (例) ・インターンシップなどの体験的進路学習
 ・大学等のオープンキャンパスへの参加や企業見学
 ・大学生や社会人による講演・出前授業

(4) 豊かな心を育む教育の推進

～ ふるさとを愛する心やコミュニケーション能力、社会性を育成する。 ～

- 様々な人たちとの関わりを通じた多様な体験活動や校外の教育資源を活用した教育の展開
 (例) ・地域行事への積極的な参加や各種施設の訪問による地域の方々との交流
 ・海岸清掃などのボランティア活動
 ・地域の魅力について理解を深めるテーマ学習(歴史、伝統、文化等)

4 部活動

- 現在、両校で開設されている部活動を可能な限り継続するとともに、中学生のニーズ等を踏まえ、部活動の運営について検討し、部活動の活性化を促進
- 部活動を通じて、心技体のバランスのとれた人材を育成

〔部活動の状況〕

運動部	響高校			豊北高校		
	硬式野球	バレーボール(女)	ソフトテニス(男)	硬式野球	バレーボール(女)	テニス(男)
	ソフトテニス(女)	相撲	バドミントン	ソフトテニス(女)	卓球	サッカー
	バスケットボール*					
文化部	吹奏楽	JRC	美術*	吹奏楽	新聞	ボランティア*
	E.S.S.*	総合家庭*				

* は同好会、研究会

平成29年度 山口県公立高等学校の学科改編について（案）

1 学科改編の内容について

対象校	宇部高等学校 下関西高等学校
実施年度	平成29年度
内容	○「探究科」（「人文社会科学科」と「自然科学科」）を導入 ○「理数科」を募集停止

【探究科とは】

知識・技能の習得のみならず、思考力・判断力・表現力を高め、主体的・協働的に課題解決を図る学習を重視する学科

2 探究科のコンセプト

新しい時代に求められる探究力の育成

人文・社会科学と自然科学に関する分野において、自ら課題を発見し、その解決をめざして他者と協働しながら、学習成果等を様々な形で表現していく学習を行うことにより、探究力を育む。

【探究力とは】

自ら課題を発見し、他者と協働しながら、主体的に課題解決を図ろうとする力

高等教育での学修の基盤となる学力の育成

質の高い深い学びを通し、知識・技能の真の理解、深い理解を図るとともに、専門的な研究活動や教科の発展的な学習を推進することにより、思考力や判断力、表現力などを高め、高等教育における高度でより能動的な学修につながる学力を育む。

3 教育の特色

- 探究的な活動を進める科目の設定により、探究力や情報活用能力等を育成
- 各科目において探究的な活動を取り入れ、より深い学び、発展的な学習を展開
- 理数・英語においては専門科目を開設し、より高度な学習を展開
- ゼミ形式の授業や自ら課題を設定し研究する学習、フィールドワーク等の体験的な活動など、多様な学習形態を導入